

●本製品は、壁厚（75～101 mm）に取付けられます。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

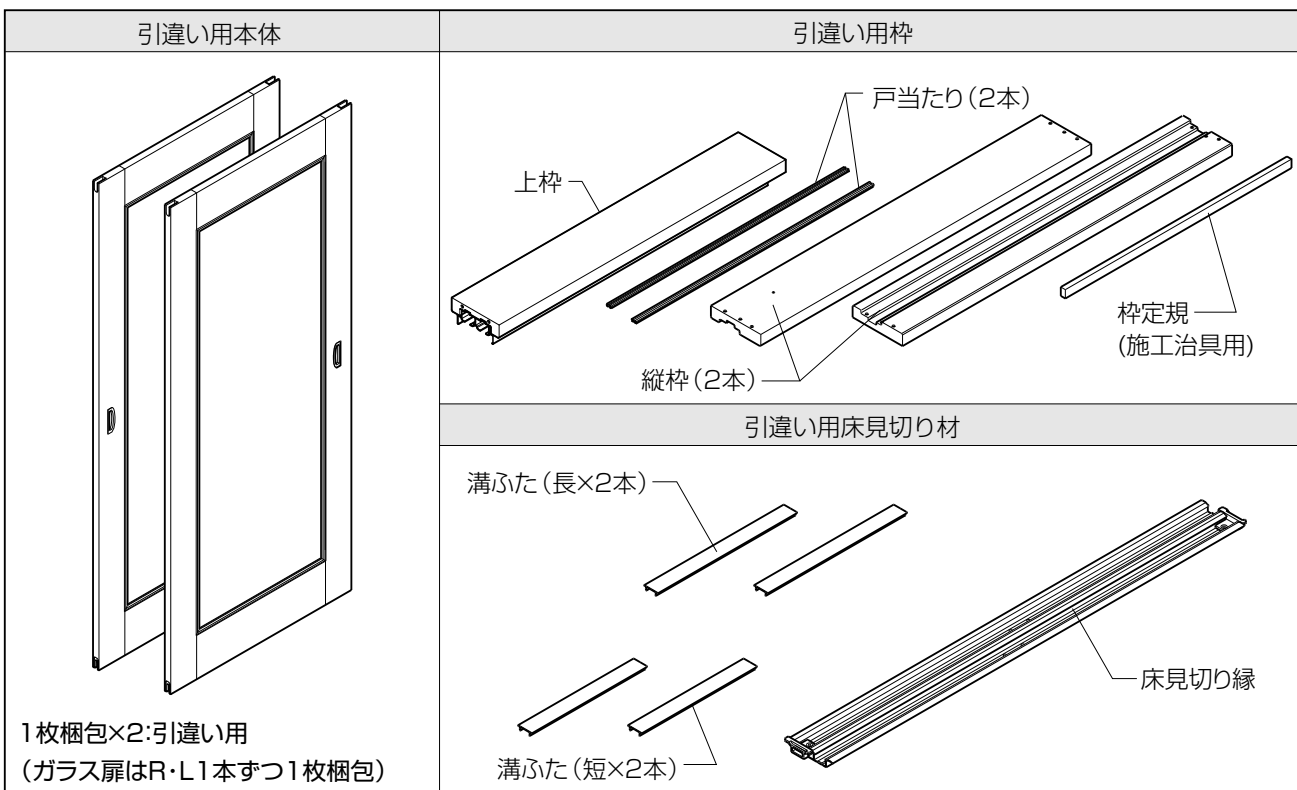
●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けない事を確認してください。押し込みが足りないと、本体が落下するおそれがあります。

■施工上のお願い

- 縦枠は床上面より12mm長く設定してあります。納め方により切詰めが必要になります。詳しくは取付け順序「**1** 縦枠の切詰め」をお読みください。記載内容に従わないと床面と本体チリ寸法が設定通りにならなくなります。
- 本製品にねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。
- 枠を取付ける際、水準器・下振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F★★★★」、又はノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木は合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 本製品は上吊り方式を採用しています。はり（まぐさ）は、強度を増すため、断面寸法50×180(mm)以上を使用してください。上枠の垂下がりの原因になります。
- ガイドピンは取付け順序「**6** ガイドピンの取付け」に従い取付けてください。本体の開閉操作に支障が出る原因になります。
- 本体にガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDねじでは取付けできません。現地にて鉄骨にかかる長さのねじを手配してください。

■部品・部材の明細

※枠は、ノックダウン、本体は完成品



■枠セット

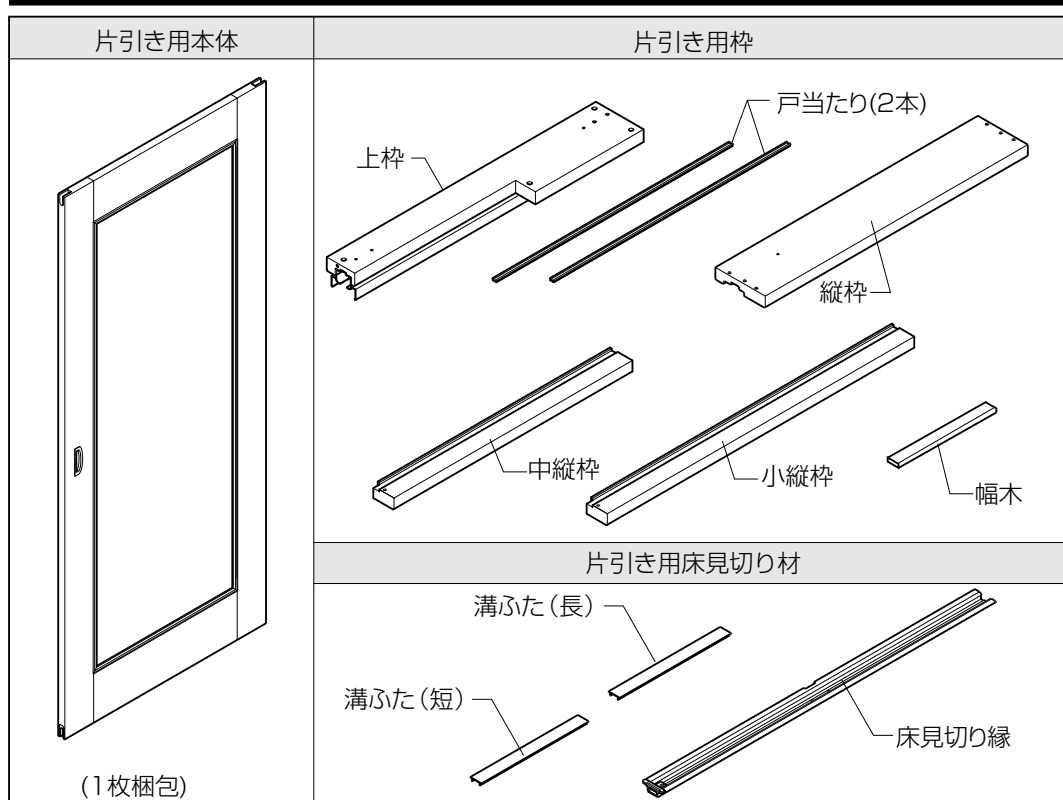
枠	部品	引違い用		片引き用	
		引違い用	片引き用	引違い用	片引き用
枠	上枠	1	1	1	1
	縦枠	2	1	1	1
	中縦枠	—	1	—	1
	小縦枠	—	1	—	1
	幅木	—	1	—	1
部品セット	戸当たり	2	1	1	1
	引違い用	1	—	—	—
	片引き用	—	—	—	1

(引違い用)

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠取付け用トラスタッピンねじφ4×60	5本
縦枠取付け用LDねじφ4.1×60	16本
ガイドピンセット	2セット
吊車	4個

(片引き用)

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠取付け用トラスタッピンねじφ4×60	5本
縦枠取付け用LDねじφ4.1×60	16本
ガイドピンセット	1セット
吊車	2個



〔引違い用床見切り縁部品セット〕

床見切り縁用ガイドピン	2本
床見切り縁用ガイドピンカバー	2個
ナベタッピンねじφ4×40	10本

〔片引き用床見切り縁部品セット〕

床見切り縁用ガイドピン	1本
床見切り縁用ガイドピンカバー	1個
ナベタッピンねじφ4×40	8本

〔引戸錠セット〕

サムターン本体	1個
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

■開口部の作り方

■開口部寸法の出し方

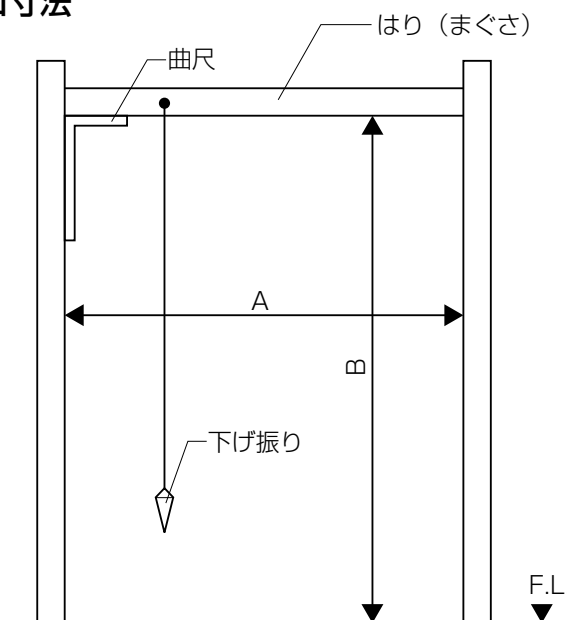
開口A寸法=製品寸法(W)+5mm

開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

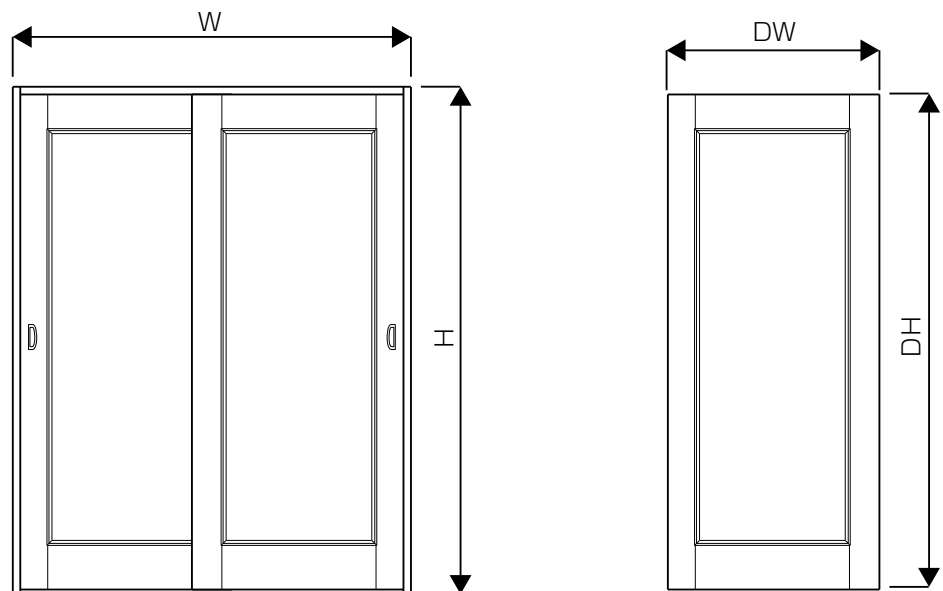
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

※本製品は、上吊り方式を採用しています。はり(まぐさ)は、強度を要するため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。

●開口寸法



●製品寸法



■取付け順序

1 縦枠の切詰め

●縦枠は、床上面より12mm長く設定してあります。縦枠の納め方により下端の切詰めが必要になります。(床面と本体下部のチリ寸法が8mmになるように設定してあります。)

1) 床後張り(枠先付け)の場合

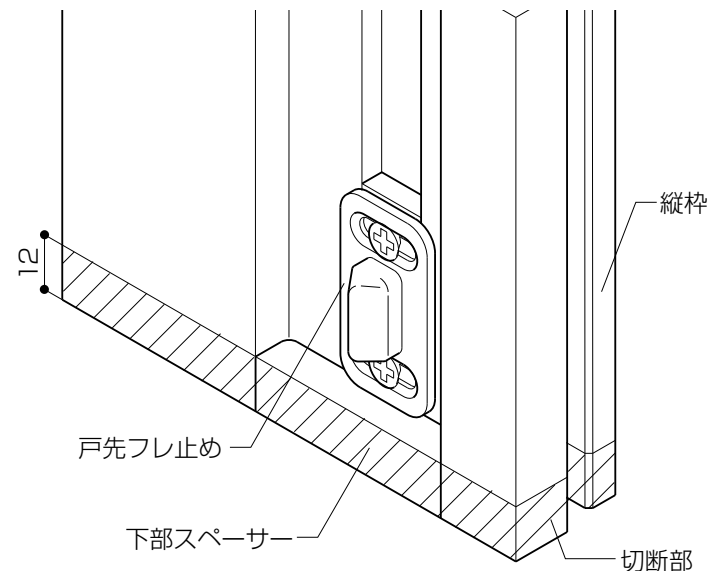
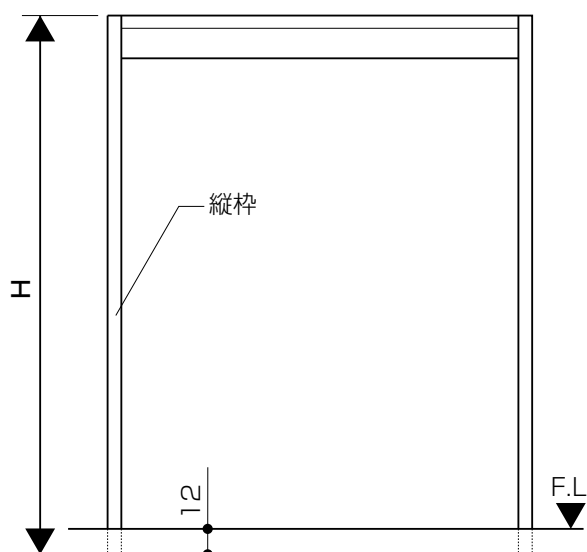
●縦枠の切詰めは、必要ありません。なお、15mm厚の床材を使用する場合、縦枠(中縦枠、小縦枠)の下に3mm厚の木端(現場手配)が必要となります。※12mm厚未満の床材を使用する場合は、床材を施工後、右記2)「床先張り(枠後付け)の場合」に従ってください。

2) 床先張り(枠後付け)の場合

※床見切り縁材を使用する場合も同じ

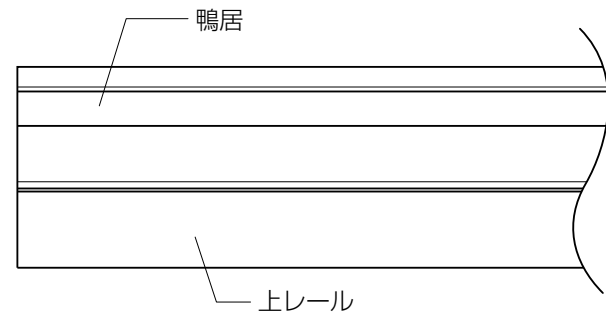
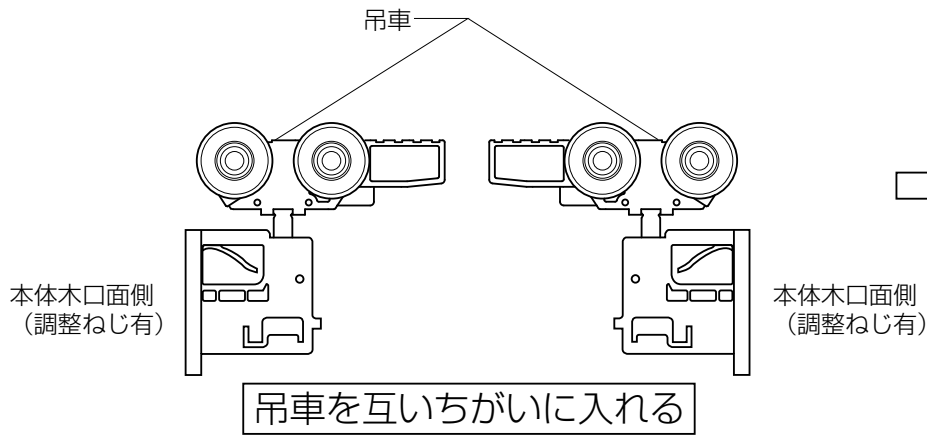
①下部スペーサーは、必要なくなりますので、取除いてください。

②床材厚さに関係なく、縦枠(中縦枠・小縦枠)下端を12mm切詰めてください。



2 枠の組立て

①吊車を互いちがいの向きにして上レールに入れてください。

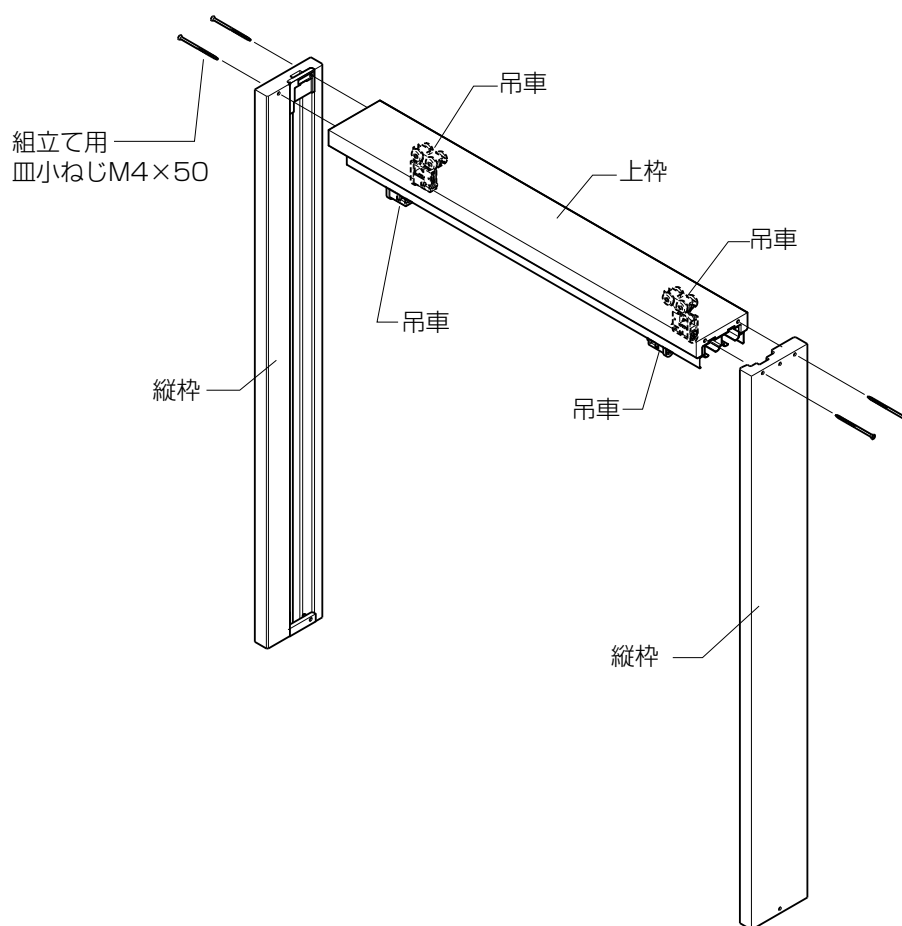


▲ 注意

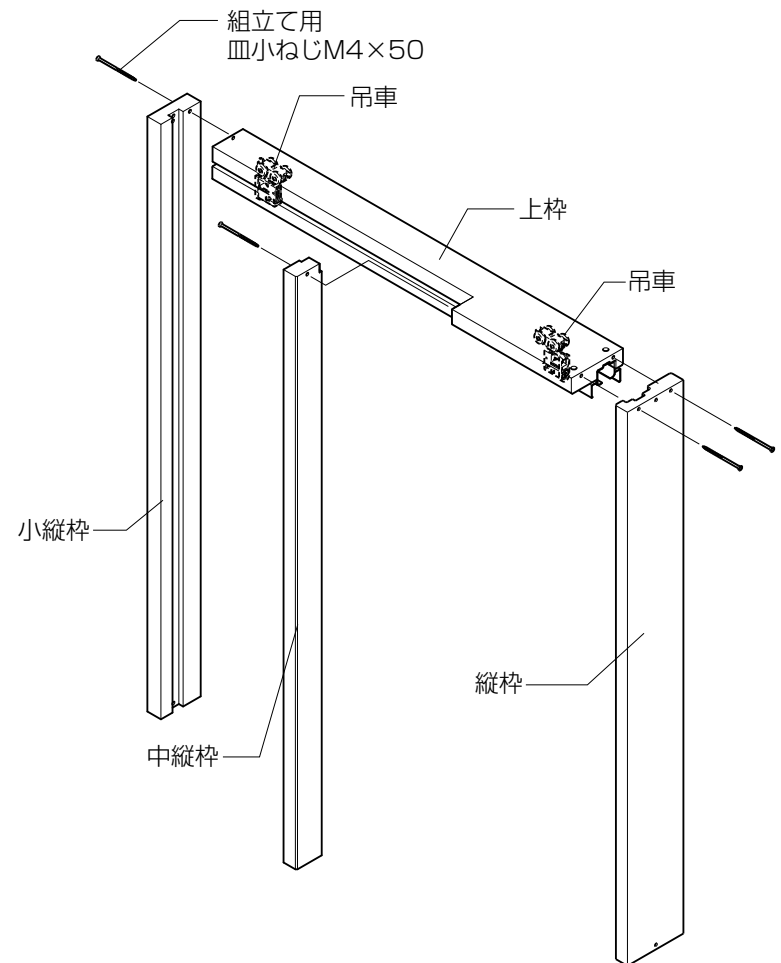
●枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込み及び、建付け調整ができません。

②図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50）で固定します。

●引違い枠



●片引き枠

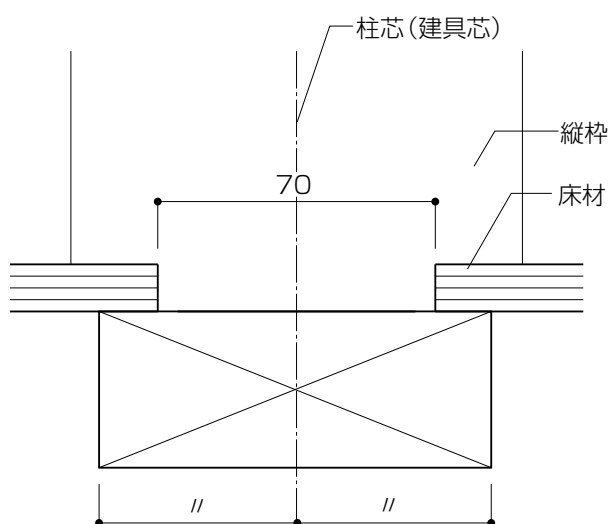


3 床の張り方

〔床先張り（枠後付け）の場合〕※床見切り縁材を使用する場合のみ

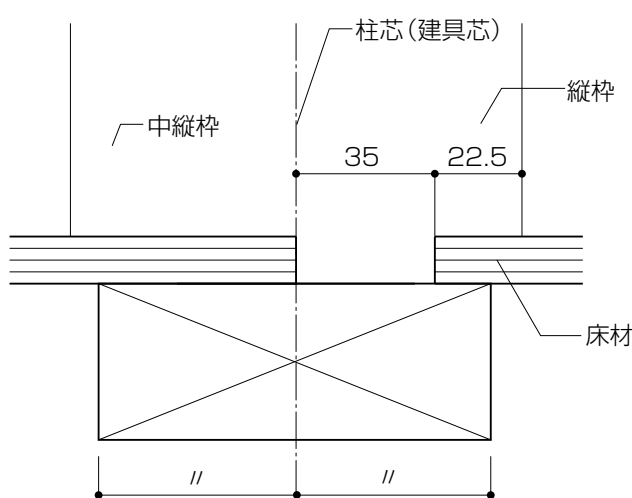
●引違い

※床材は、柱芯（建具芯）を中心に70mmあけて張ってください。



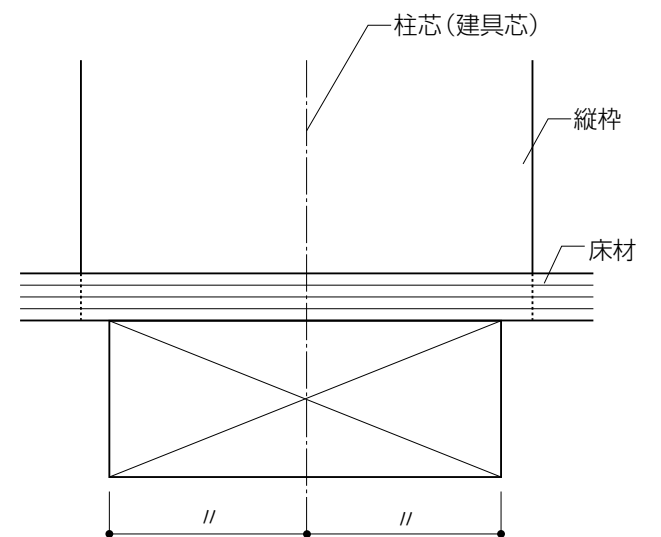
●片引き

※床材は、柱芯（建具芯）より引込み側に35mmあけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部より内側に入った所に35mmあけて張ってください。



〔床後張り（枠先付け）の場合〕

※枠取り付け後、縦枠にそって床材を張ってください。



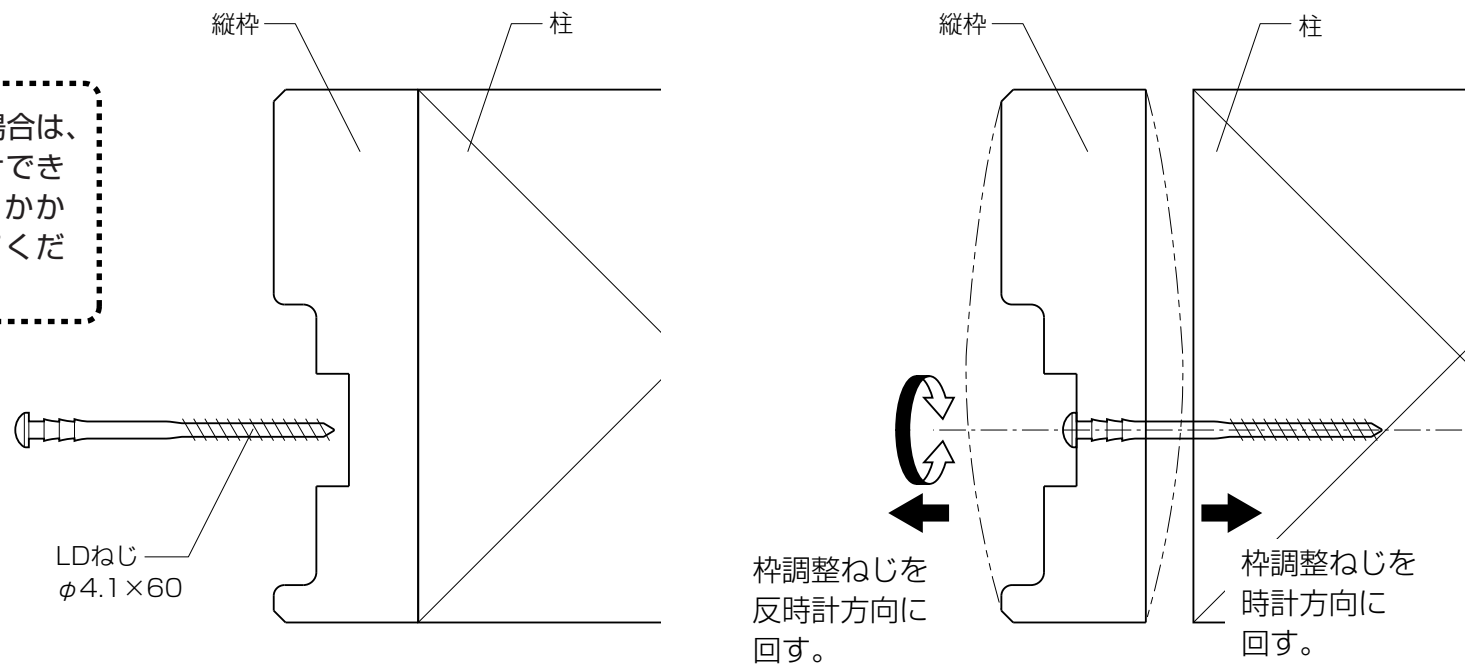
4 枠の取付け

● 枠を枠調整ねじで固定して、枠が水平・垂直になるように調整してかい木を入れて固定してください。

● 縦枠・小縦枠

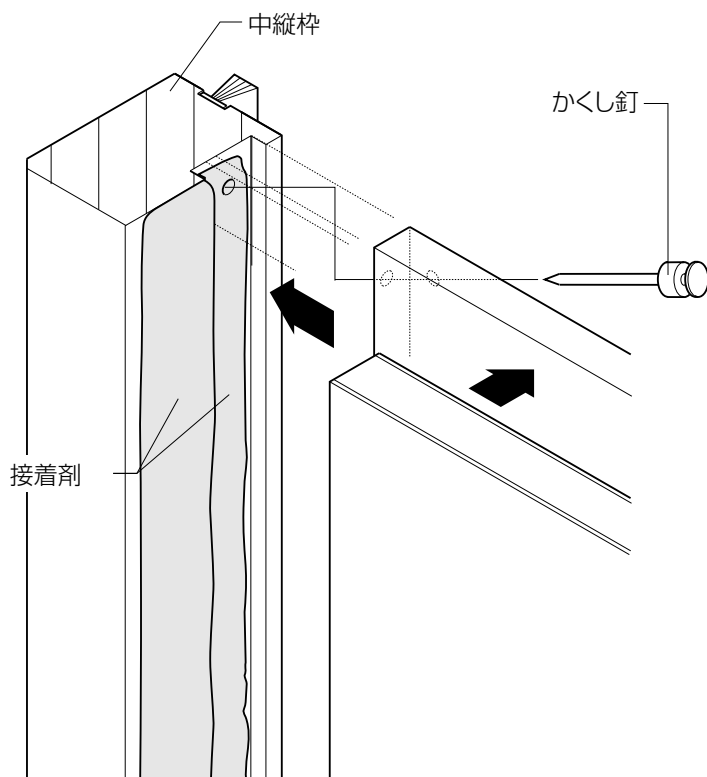
お願い

※軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDねじでは取付けできません。現地にて鉄骨にかかる長さのねじを手配してください。

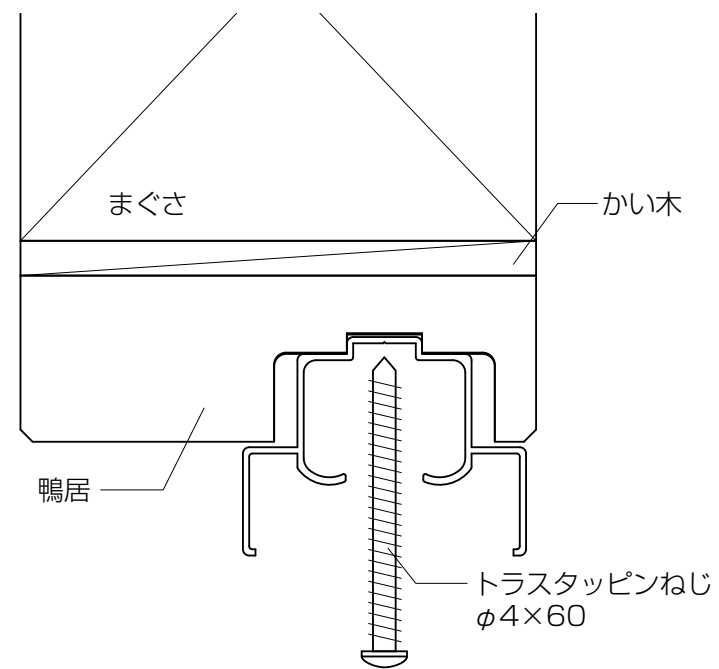


● 中縦枠

※裏面に接着剤を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



● 鴨居

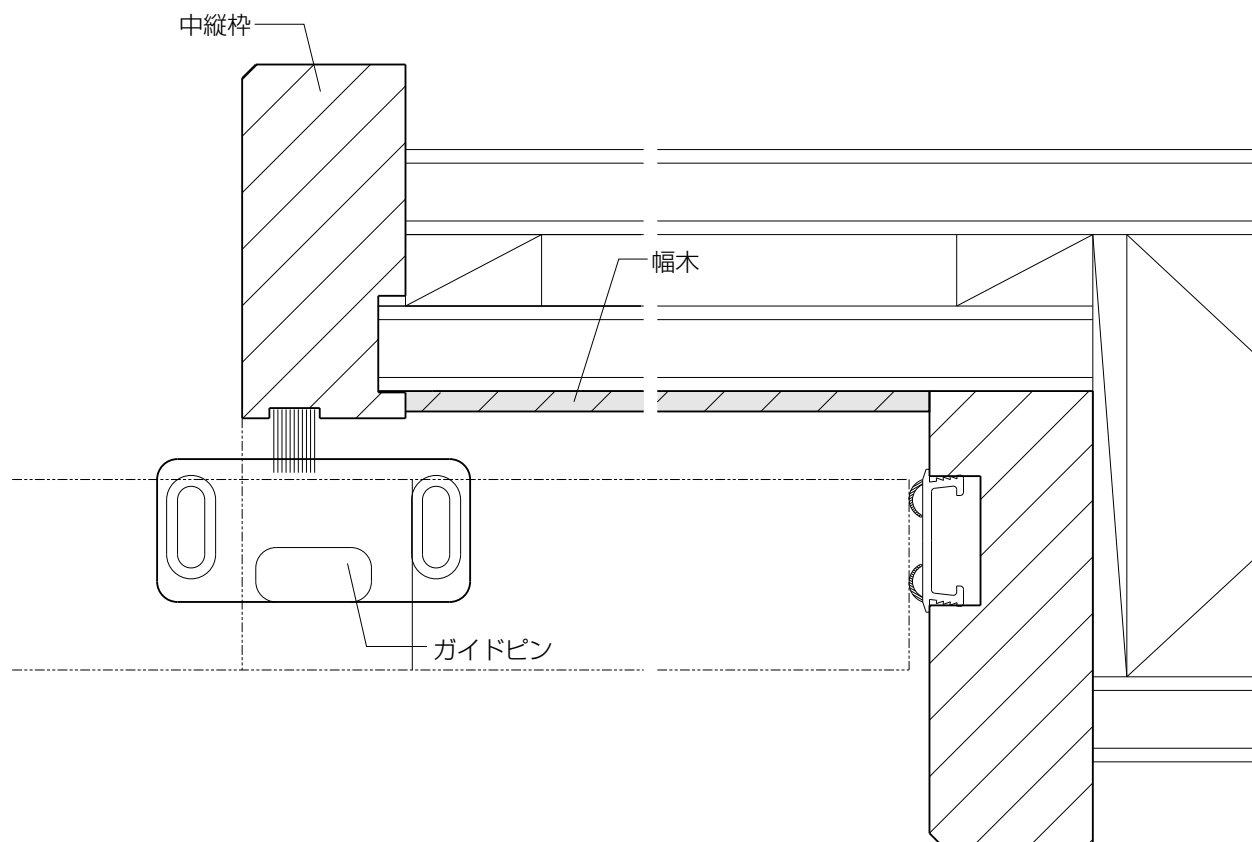


お願い

●鴨居の躯体固定ねじを締込み過ぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体を吊込んだ時に動きが悪い場合はねじを緩めてください。

5 幅木の取付け (片引戸のみ)

※片引戸には小壁のボードと床材を見切るために幅木が同梱されています。現場に合わせてご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは200~300mmです。

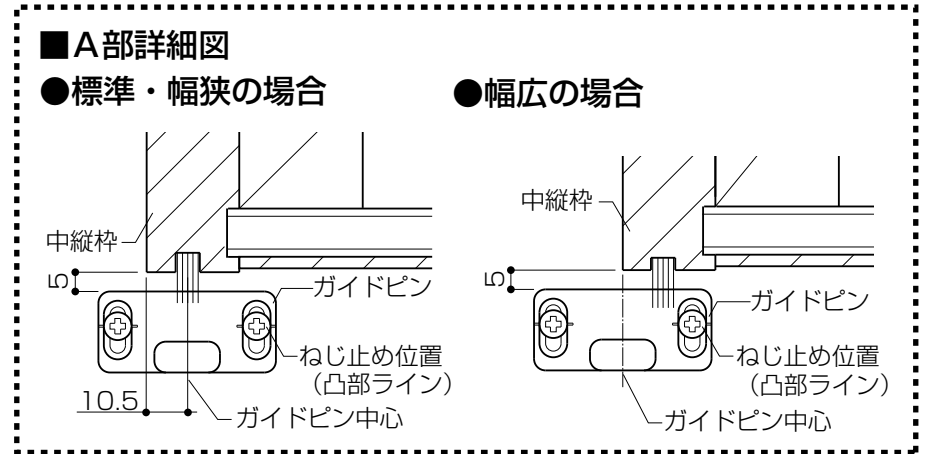
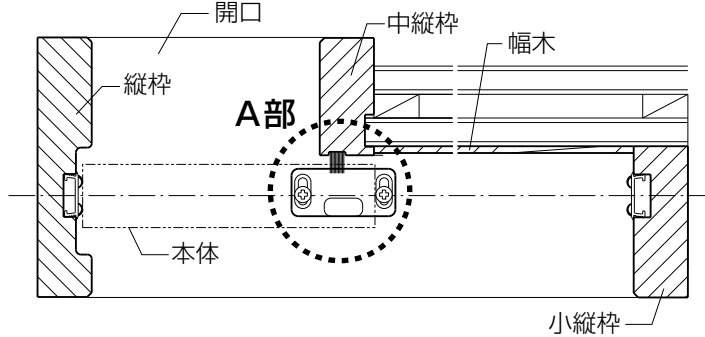


6 ガイドピンの取付け

- ガイドピンを枠に同梱のねじ（皿タップピンねじφ3.5×20）で固定します。
- ※機種により取付け位置が異なります。必ず下記の説明をお読みください。
- ※本体の開閉操作に影響が出ますので、A部詳細図に従って取付けてください。

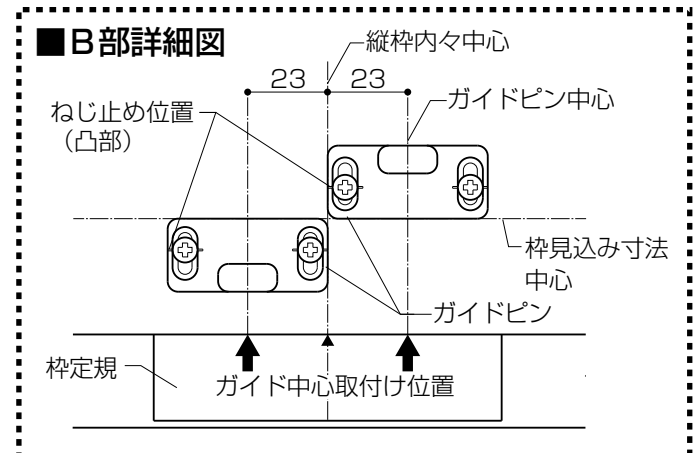
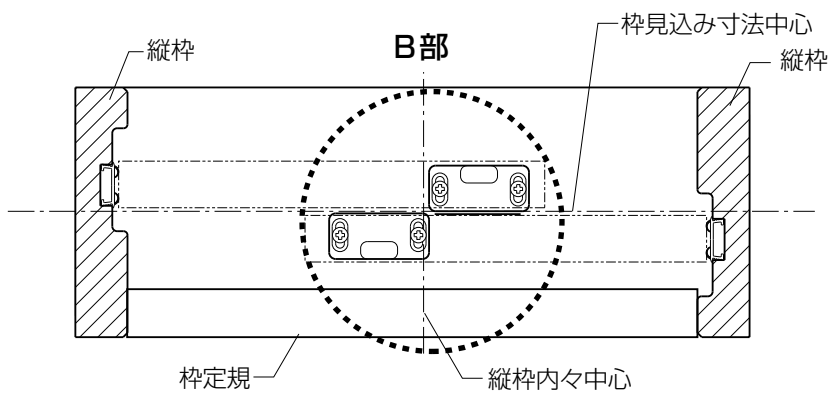
1) 片引き〔標準・幅狭(幅広)〕の場合

- 図の位置及び向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴（2カ所）の凸印（ライン）の位置にねじ止めしてください。
- ※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と左右対称の位置となります。



2) 引違いの場合

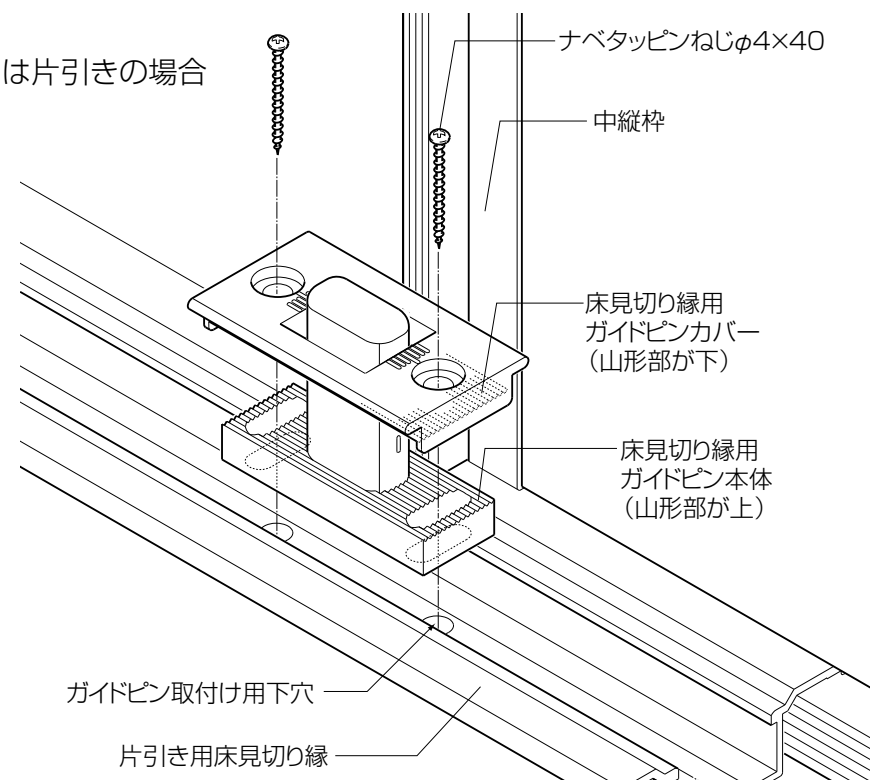
- ①枠定規を縦枠の内々に入れます。
- ②図の位置及び向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴（2カ所）の凸印の位置にねじ止めしてください。



〔床見切り縁を使用する場合〕

- ※床見切り縁を使用する場合も同梱のねじ（ナベタップピンねじφ4×40）で固定します。床見切り縁にガイドピン取付け用の下穴が、前図のようにあらかじめあいていますので、ガイドピンカバーとガイドピンの中心を合わせて右図のように固定してください。

※図は片引きの場合



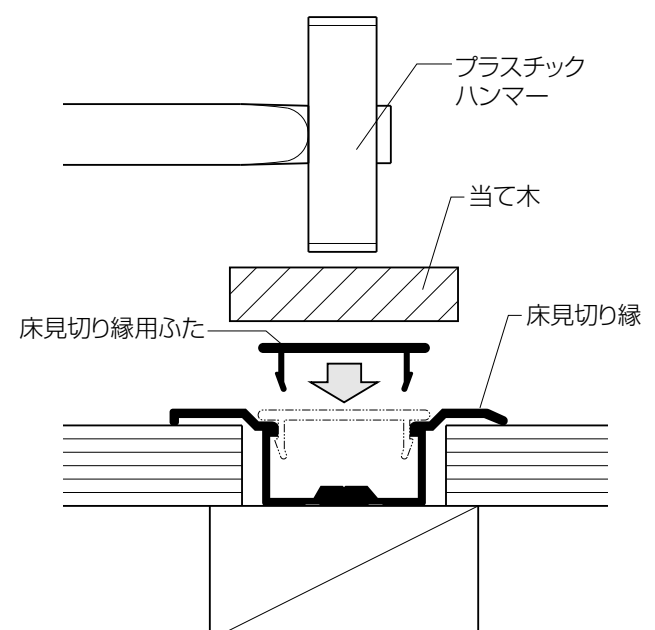
7 溝ふたの取付け

（床見切り縁を使用する場合）

- ※床見切り縁および床見切り縁用ガイドピンが正しい位置に取付けられているか確認してください。
- 溝ふたの端部が、床見切り縁用ガイドピンカバーにかからない位置に合わせて当て木をし、プラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

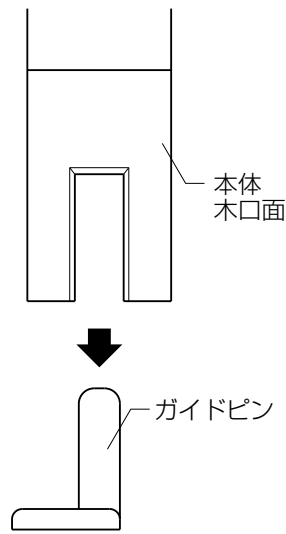
8 戸当りの面付け

- 戸当りに木工用ボンド（現地手配）を付けて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず床見切り取付け後に取付けてください。
- ※片引戸については戸当りを縦枠側と小縦枠側で長さの異なる物を同梱していますので、切断する場合は注意してください。

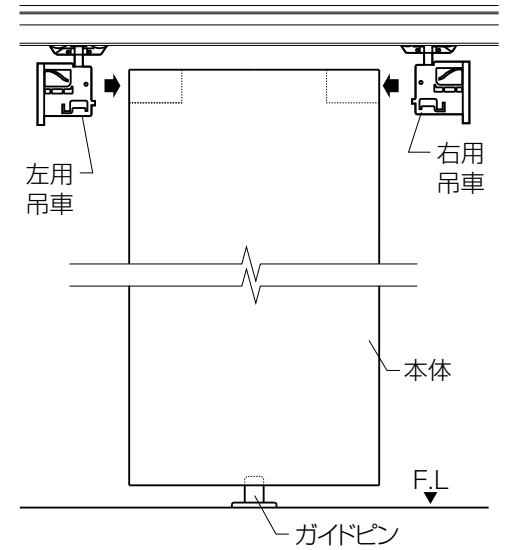


9 本体の吊込み

① 本体を持ち上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れる。



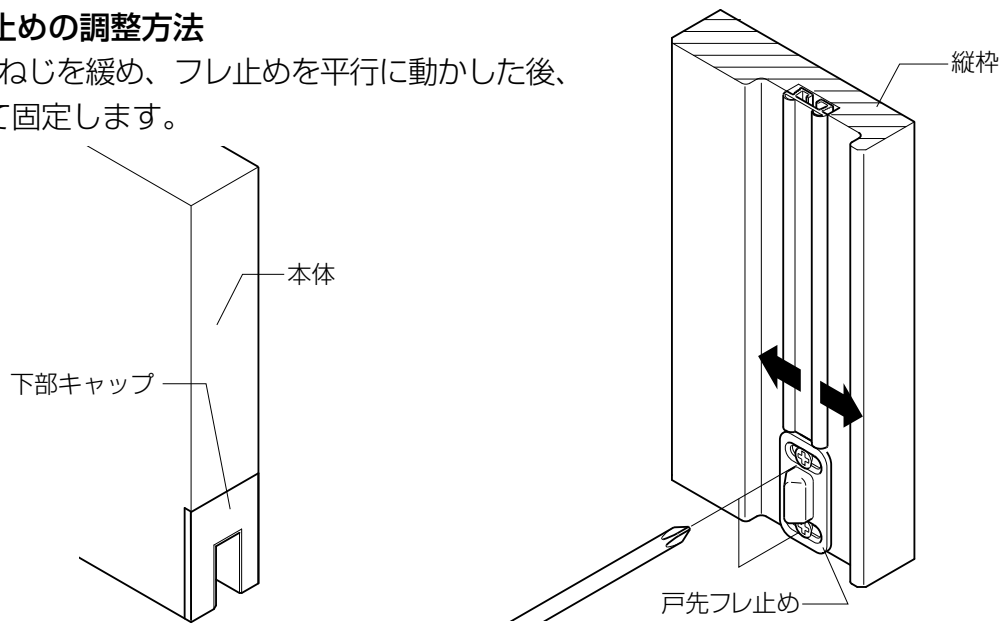
② 片側ずつ吊車を本体に水平に押し込むと、ワンタッチで取付けられます。
※ 吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。



③ 縦枠戸先側フレ止めの位置を調整します。扉を閉めて、フレ止めが本体下部キャップとはめ合わせするのを確認してください。入らない場合はフレ止めのねじを緩めて、位置を調整してください。

■戸先側フレ止めの調整方法

● 上下2カ所のねじを緩め、フレ止めを平行に動かした後、ねじを締めて固定します。



▲ 注意

● 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けない事を確認してください。押し込みが足りないと、本体が落下するおそれがあります。

■本体の建付け調整

● 本体の吊車には、上下方向及び前後方向の調整機能が付いています。

1) 上下調整 (調整幅+4mm、-1mm)

● ⊕ドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が下がり、左に回すと本体が上がります。
※ 床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
※ 本体を下げ過ぎるとガイドピンベース部と本体が当たりますので、下げ過ぎないでください。

2) 前後調整 (調整幅±2mm)

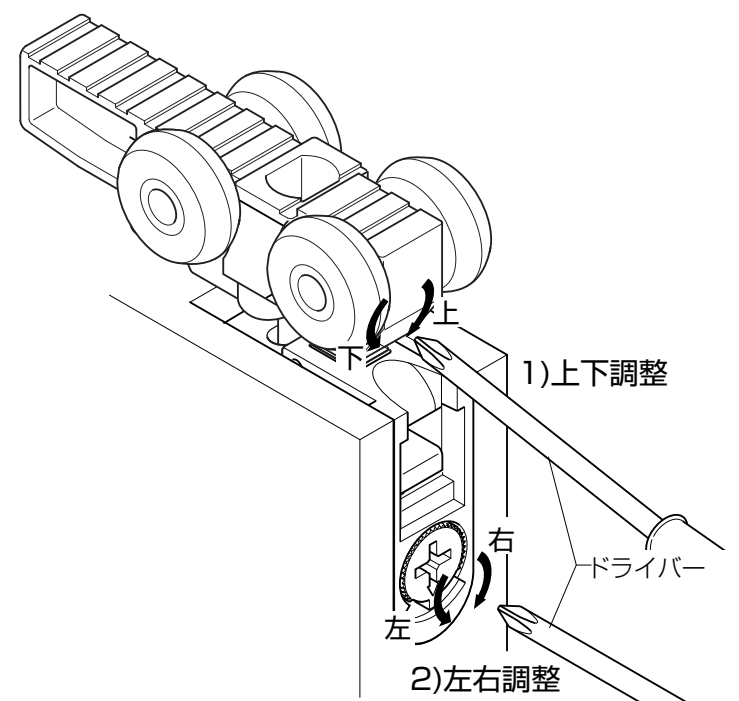
● 前後調整は片引きの場合、中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ9mm)に実施してください。引違いの場合、本体同士のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ8mm)に実施してください。⊕ドライバーで吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が右へ動き、右に回すと本体が左に動きます。

※ 前後調整した場合は、本体が常に垂直になるようにガイドピン及び縦枠下部のフレ止めの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。

■本体の取外し方法

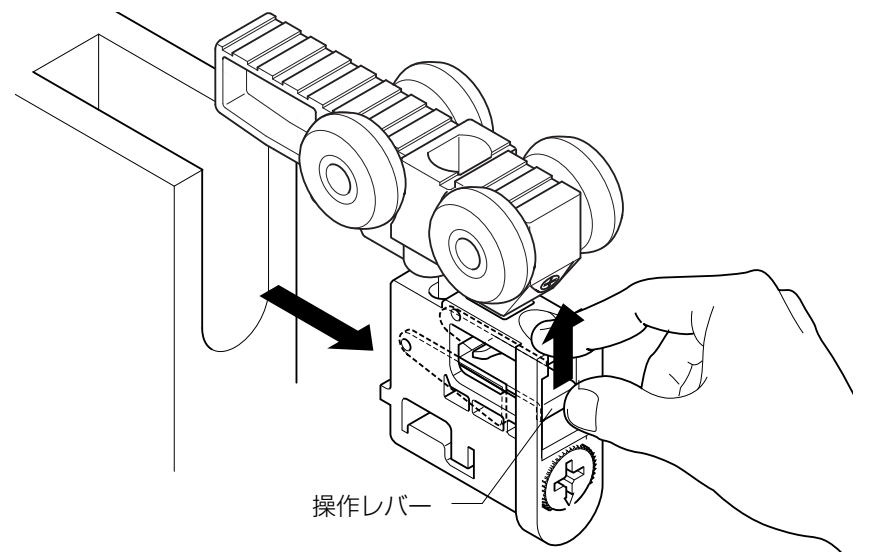
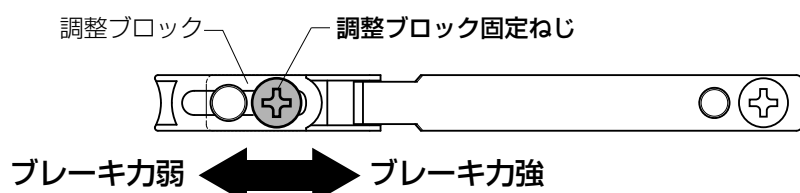
● 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

※ 取外しがやりにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用して操作レバーを押し上げながら引抜いてください。



【ブレーキ力調整】

● 上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ブロック固定ねじを2回転まで緩め、調整ブロックをスライドさせて、ブレーキ力を調整してください。調整後は、固定ねじを締めてください。

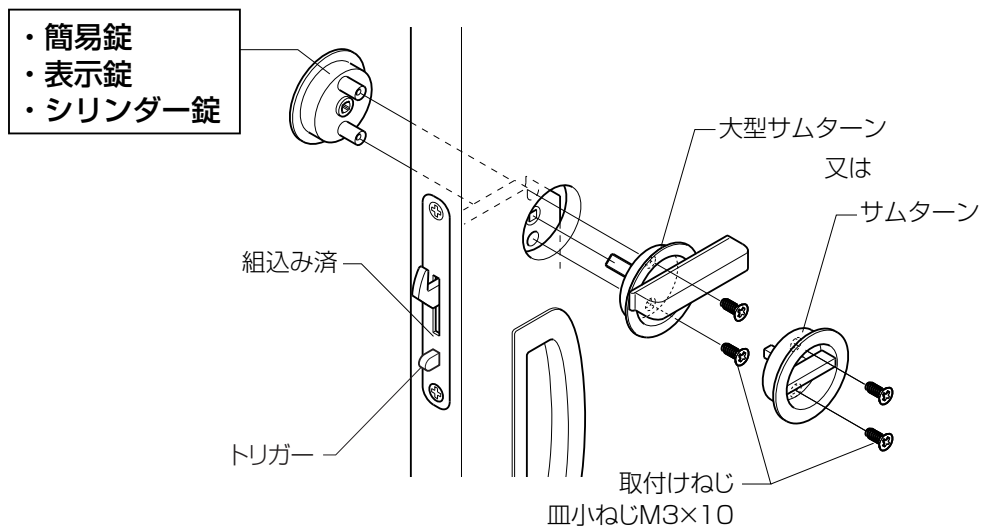


■引戸錠の取付け

●別売りの錠を右図のように組立ててください。

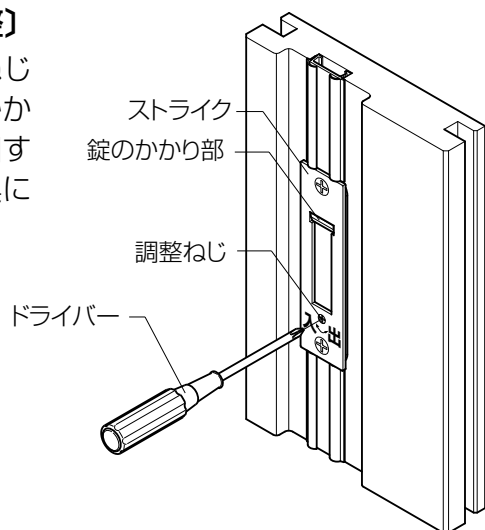
※取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。大型サムターンの場合は、ツマミを水平状態にしてから取付けてください。

※大型サムターンは表示錠のみの設定になります。



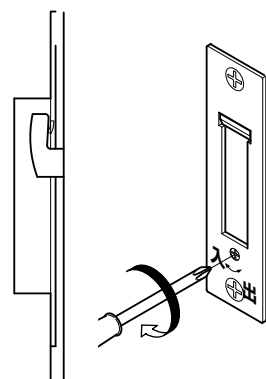
〔引戸錠のかかり調整〕

●ストライクの調整ねじを左に回すと錠のかかり部が出て、右に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



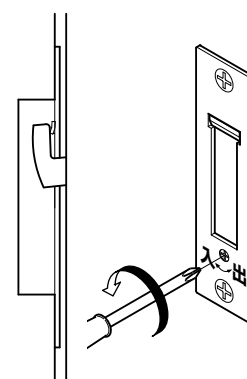
●本体と枠のすき間が大きい場合

調整ねじを右に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合

調整ねじを左に回して調整してください。



■引戸ボトムシール付きの調整方法

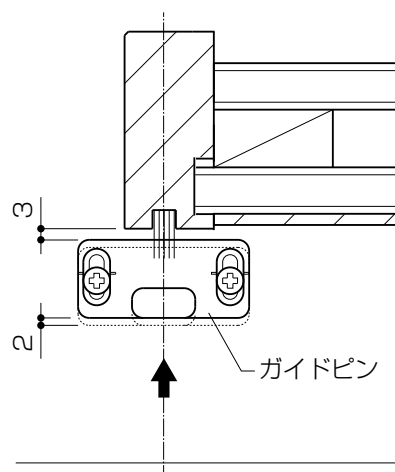
1) ガイドピンの位置調整

①取付け順序 6 で取付けたガイドピンのねじを緩めます。

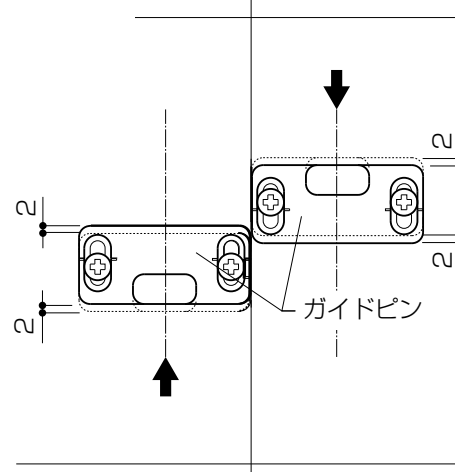
※片引き（標準・幅狭タイプのみ）の場合は、本体を外さずに全開と全閉の状態ガイドピンの調整ができます。

②ガイドピンを中縦枠側へ（引違いの場合は、枠の中心側へ）2mm移動し、ねじ止めします。

●片引きの場合



●引違いの場合



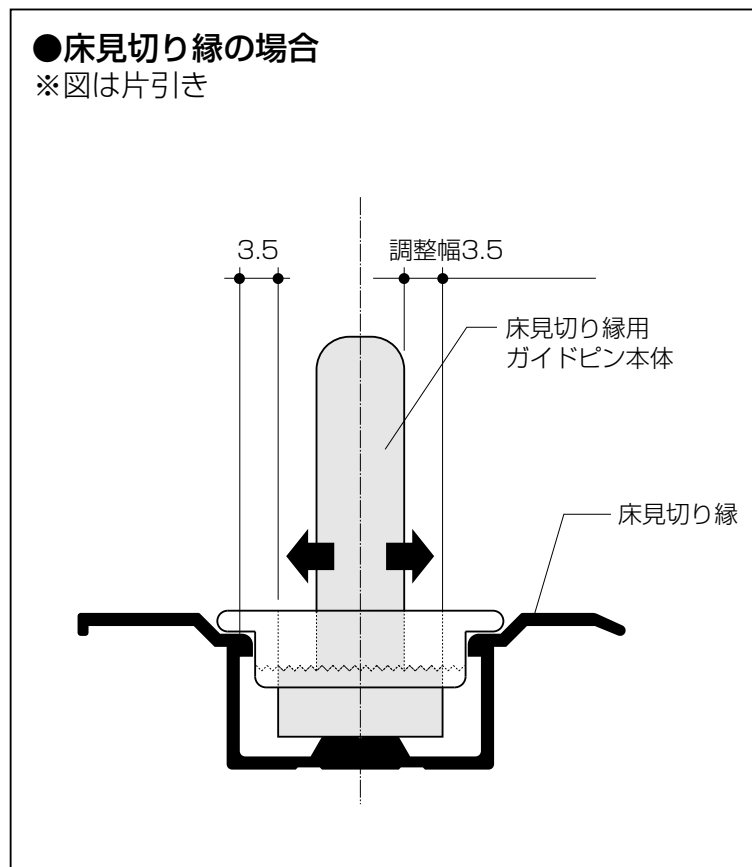
2) 床見切り縁用ガイドピンの調整方法

上記調整方法と同じになります。

※ガイドピン取付けねじを緩めて、床見切り縁用ガイドピン本体のみを、左右に動かして調整してください。

●床見切り縁の場合

※図は片引き



3) ボトムシールの飛び出し量の調整 (0~15mm)

※調整は、本体建付け調整(特に上下調整)後に実施してください。

①本体を吊込んだ状態で、戸先側木口面下部キャップの穴に⊕ドライバーを差込みます。内部の調整ねじを左に回し、モヘヤ部を下げます。

②モヘヤの先端が床に接触する位置まで下げてください。(最大で15mmまでモヘヤ部は、下げられます。)

